

平山郁夫シルクロード美術館 News

The Hirayama Ikuo
Silk Road Museum

No. 16

平成25年7月1日発行

News



平山郁夫 素描《トルファンの葡萄》
1978年 紙本彩色 縦32.0cm×横51.5cm

闊達な筆線と鮮やかな緑の濃淡が、葉陰に実った葡萄のみずみずしさを余すところなくとらえている。トルファンの葡萄は、灼熱のシルクロードをゆく旅人にとって、オアシスにおけるいやしの象徴そのものであった。

シルクロードの要衝として知られるトルファン(吐魯番、新疆ウイグル自治区)は、天山山脈の東にあるオアシス都市である。いにしえには、火州と呼ばれたトルファンの夏の暑さは有名で、天山山脈の雪解け水を使った用水路によって灌漑が発達し、葡萄や哈密瓜の栽培が盛んとなった。文化大革命が終わって間もない1978年8月、平山郁夫は中国西域、新疆ウイグル自治区にはじめて足を踏み入れた。夫妻がトルファンを訪れたのは40度を超す炎暑のさなかであった。美知子夫人(当館館長)は当時のことを振り返り、招待所(中国の国営宿泊所)の葡萄棚の下で涼みながら、トルファン名物の赤や緑のさまざまな大きさの葡萄を「片っ端からいらいげ」、まるで極楽にいるような心地であったと記している。



公益財団法人

平山郁夫シルクロード美術館

展覧会紹介

The Hirayama Ikuo Silk Road Museum
Exhibition

富士の国やまなし国文祭提案事業

企画展「シルクロードの饗宴—葡萄とワインの文化をめぐって—」

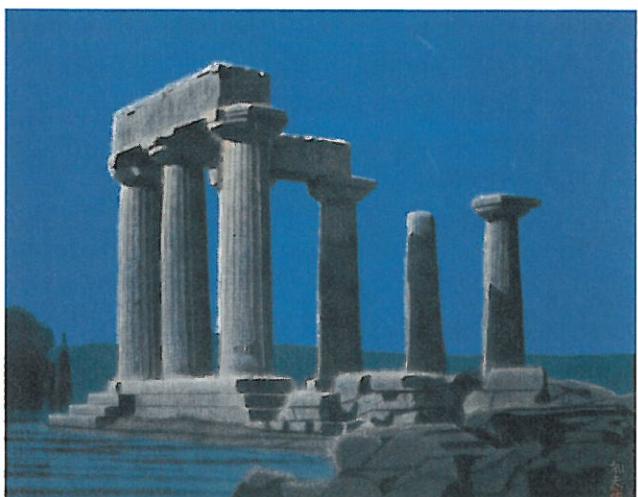
2013年6月28日(金)～11月11日(月)

2013年は、山梨県で開催されている「第28回国民文化祭・やまなし2013」に参加し、富士の国やまなし国文祭提案事業の採択を受けた企画展「シルクロードの饗宴—葡萄とワインの文化をめぐって—」を開催します。

山梨県の特産品、葡萄とワインの歴史は古く、今から約1万年前のコーカサス地方に端を発するといわれます。祭礼や饗宴でワインを飲む食文化は、やがて古代メソポタミア、エジプト、そしてヨーロッパ、中国へと広まりました。蔓を大きくのばし、房をたわわに実らせた葡萄は、古来より豊饒と繁栄のシンボルとされ、葡萄をモチーフにした意匠デザインは、宗教や民族の枠を超えて人々に愛され、シルクロードを通じて、奈良時代の日本にも伝えられています。

本展では、シルクロードを通じて広まった葡萄とワインにまつわる美術品、約100点を展示し、山梨における葡萄栽培・ワイン造りと関連付けてながら、シルクロード由来の豊かな文化を紹介致します。

〈表紙の絵「トルファンの葡萄」も同展にて公開〉



※<コリントの遺跡>

新収蔵品初公開です。ギリシアの遺跡を描いた平山郁夫の貴重な初期作品です



ペルシアのカットグラス(円形切子碗)



インドネシアの金更紗(きんさらさ)の葡萄唐草文(ぶどうからくもん)

Information

- ◆会期 2013年6月28日(金)～11月11日(月)
※火曜日休館 (7-9月は無休)
- ◆開館時間 午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- ◆観料 一般1200円／高・大学生800円／小・中学生無料
※障害者手帳をお持ちの方無料、介護の方1名まで600円
※70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引
- ◆主催 文化庁 山梨県 山梨県教育委員会 第28回国民文化祭
山梨県実行委員会 山梨日日新聞社・山梨放送
公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館
- ◆後援 北杜市 北杜市教育委員会 信濃毎日新聞社 八ヶ岳ジャーナル NHK甲府放送局 テレビ山梨 FM富士 FM八ヶ岳
- ◆協力 ルミエール
- ◆賛成 キリンビール

次回の展覧会案内

平山郁夫 日本の風景

2013年11月16日(土)～2014年3月10日(月)

奥入瀬、富士山など、平山郁夫が描いた日本の風景画を展示します。

これからのイベント

Information

「ワイン&クラフトフェスタ」の開催

2013年10月5日(土)、6日(日)

会場：平山郁夫シルクロード美術館
らくだ公園(屋上デッキ)

「シルクロードの饗宴—葡萄とワインの文化をめぐって—」展に併し、関連イベントを開催します。山梨ワインの試飲や、ぶどうの販売だけでなく、美術館に併設するフレンチレストラン提供のおつまみ、八ヶ岳のチーズやおつまみ、カレーや珈琲等を、クラフトと共に楽しむいただけます。この2日間に合わせて、美術館では講演会やコンサート、ワークショップを行います。葡萄づくしの2日間を是非ご堪能ください。

5日(土) 14:00～

【特別講演会】

国立西洋美術館館長の青柳正規氏(東京大学名誉教授)をお迎えし、ワインの歴史と文化に関する特別講演会を開催致します。

場 所：平山郁夫シルクロード美術館 2階ラウンジ

参加費：無料(但し入館券が必要)

6日(日) 13:00～

【展覧会記念コンサート】

毛丫(マオ・ヤ)氏をお迎えし、「中国古箏コンサート(仮称)」を開催致します。(古箏とは中国の古い琴)。



同時開催

「葡萄の宴—クラフトマンの提案—」展

八ヶ岳で活動するクラフトマン11名が、“葡萄・ワイン”をテーマに作品を展示し、新たな作品・商品を提案します。また、「ワインのある和のテーブル」を共同で演出します。

粒揃いの“ぶどう作品”をお楽しみ下さい！

●期間：10月2日(水)～10月28日(月)

※10/8、15、22休

●会場：ギャラリー&SHOP亜絲花

他会場で見られる平山郁夫シルクロード美術館コレクション

The Hirayama Ikuo Silk Road Museum

Collection

岡山オリエント美術館(岡山県)

「古代ガラス—色彩の饗宴—」展

●2013年7月6日(土)～9月1日(日)

ガラス器 約30点

青森県立美術館(青森県)

「吉村作治の古代七つの文明」展

●2013年9月24日(火)～11月24日(日)

ギリシア、ガンダーラ彫刻 約50点

佐川美術館(滋賀県)

「絲綢之路・悠久の旅路」展

●2013年9月21日(土)～11月9日(土)

平山郁夫の絵画 約33点 その他約25点

岡山オリエント美術館(岡山県)

「平山郁夫と古代メソポタミア文明」

●2013年9月14日(土)～11月24日(日)

印章・粘土板・土器など約280点

平山郁夫の絵画 約10点

佐久市近代美術館(長野県)

「平山郁夫—仏教伝来—」(仮称)

●2013年9月13日(金)～11月9日(土)

平山郁夫の絵画 約20点

私のロマネコンティ

私は6月28日から平山郁夫シルクロード美術館で開かれるぶどう展にちなむワインに関する思い出の様な事があればと頼まれましたが、フランスのワインとなるといろいろな思いが去来するのです。

アルコール類は少しも飲めない私がワインの最高と云われるロマネコンティのぶどう畑にいったのは不思議なめぐり合わせだったのだと思います。

2002年始め頃、小谷野匡子先生のお誘いで、フランスのパリの郊外のヴィリエ・ル・バークル村にある藤田嗣治画伯のアトリエの調査をなさる林洋子先生（名古屋大学教授）をサポートされる小谷野先生についてゆけば未公開の彼のアトリエを見学することが出来るというので御一緒させていたただく事にしました。

1955年2月28日藤田画伯は君代夫人と共にフランスに帰化されたのです。

私は結婚後、石草流の岩田清道先生に「生け花」をならっていた事があります。岩田先生は他のお花の師匠の様に華美なところがなく、石とか草花の自然な形を生けるといった良い先生でした。その先生が藤田画伯のご親戚で彼が日本を去り、パリで病気になられた時、岩田先生は70才位だったと思いますが、日本の着物姿で、モンペをはいて、飛行機で一人でパリに行かれたのですが、君代夫人は絶対に先生を彼に会わせなかったそうです。帰国後も先生はそんなことは一言も云われませんでしたが後に他の御弟子から伺ったのです。そんな事で私は藤田



2005年9月5日シトー派修道院の近く、ロマネコンティワインの葡萄



平山郁夫シルクロード美術館館長
平山美知子

画伯の絵も好きでしたし、岩田先生がパリ迄行ったのに藤田画伯に会えなかった岩田先生の思いもあって、晩年の彼のアトリエを見たいと思ったのです。

私が一軒家の2階のアトリエを見ても、使っていた日本画の筆や絵の具といったものしか分からないのですが、アトリエの壁面に彼の最晩年の傑作であるランスのノートルダム・ド・ラベ（平和の聖母）教会のフレスコ技術の壁画の大下図というか本画の様な聖母を中心とした聖人達の絵がそのまま残っていて、本当の藤田嗣治を見たという思いで一杯でした。私は2002年7月23日、2005年9月5日、2007年4月23日と3回アトリエ

を見学する事が出来て幸いでした。私は林洋子先生とフランスの研究者達の邪魔にならぬ様にアトリエを出て、数日フランスのロマネスクの教会を見て回る事が出来ました。女1人では危ないというので、後藤太氏と溜池康夫氏が案内してくれました。

2005年9月5日、アトリエ見学のあとはブルゴーニュ地方のディジョンを中心にサンペニーニュ大聖堂、シトー派の修道院を見たあと偶然にもロマネコンティのワインの畠のそばを通ったのです。丁度時期もよかったです。小粒のよく育った実がぎっしりと房になっていて、藤田嗣治のアトリエ見学のおかげで岩田先生のお導きもあってこんな機会を恵まれたのだと思います。余談ですが、ディジョンの近くのボースは山梨の勝沼と姉妹市だという事でご縁があったのだと嬉しく思っています。



韓国中央博物館・慶州訪問ツアー同行記

平成24年11月26日から29日までの2泊3日で、館長はじめ渡邊明義副理事長、平山郁夫美術館館長平山助成ご夫妻、鎌倉ユネスコ協会の尾花珠樹氏、東京芸術大学教授宮廻正明氏など総勢13名の韓国中央博物館ならびに慶州ツアーに同行しました。

『瑠璃、3000年の物語－地中海・西アジアの古代ガラス－』展は、シルクロード美術館所蔵のガラス器のコレクション327点を貸し出しての展覧会で、広い展示スペースに効果的な陳列がされており、古代ガラスの魅力を十分に堪能できる内容でした。オープニング式典当日は休館日でしたが、内覧会終了後、特別に平山先生の大叔父にあたる清水南山氏の作品等が展示されている日本室を日本人ボランティアの皆様に案内して頂けたのは、予想外の事でした。



『青磁展』展覧会場前にて

2日目は、韓国の高速列車KTXで慶州へ移動し王朝時代の官吏を多く輩出した良洞歴史村や天馬領、慶州博物館を見学しました。そして最終日は、石窟庵と仏国寺を見学、仏教が朝鮮半島を経由して日本へ伝わってきた一端を感じることができました。KTXでソウルに戻り、限られた滞在時間を有効に過ごしたいとの思いから、再度中央博物館へ。すばらしい『青磁展』を予定外ではありましたが、ミン学芸部長が、ご多忙中にも関わらずご案内してください恐縮しました。また今回の訪問に際し、様々な調整をしてください慶州行きにも同行してくださった中央博物館学芸員のリュウさんなど、多くの皆様に感謝しながら帰路につきました。

(事務局 進藤記)



《内覧会/展示を見る参加者達》



《内覧会/ギャラリートークを聞く招待者達》



新職員紹介

学芸員
中澤 紗織

大学、大学院と彫刻を勉強してきました。美術館では学芸業務全般を担当しますが、主としてワークショップや教育プログラムを担当します。自宅に「tofon鉄工所」を設立し、作品の制作も手掛けています。制作活動と両立しながら美術館の新しい戦力として頑張ってくれると大いに期待しています。

新販売品の紹介 | New Museum Goods



当館では、展覧会に関連した絵葉書や一筆箋、クリアファイルなど、様々なオリジナルグッズを制作・販売しています。昨年からはさらに種類を増やし、好評を頂いております。マグカップやクリスタルガラス製の拡大鏡など、実用的で高級感のある商品も加わりました。特別な方へのプレゼントに、またはご自分のお気に入りの一品を探してみてはいかがでしょうか？



＜マグカップ＞
“パルミラ遺跡を行く朝・夜”



＜クリスタル拡大鏡＞
“パルミラ遺跡を行く朝・夜”



＜メタル(金属製)ブックマーク＞

第4回絵手紙コンテスト受賞者一覧

絵手紙コンテストの開催が、昨年度で4回目を迎めました。

皆様から391通のご応募をいただきました。

平山美知子館長による審査の末、43名の入賞が決まりました。おめでとうございます。

入賞作品は6月28日から9月末まで美術館2階ラウンジに展示しております。

そして、第5回絵手紙コンテストの募集もしております。皆様のご応募心よりお待ちしております。

最優秀賞 1名 竹田 ミヨ子 埼玉県さいたま市

●大人の部

優秀 5名	高橋 千代子 浅野 慎子 横山 浩子 川村 泰子 池田 敏樹	千葉県市川市 埼玉県川越市 埼玉県鴻巣市 東京都小平市 長野県大村市
入選 23名	中嶋 勝代 久野 みち子 久保田 瞳子 関戸 千恵子 數野 悅子 壁谷 庄太郎 三村 恵美子 中山 美知子 功刀 美紀 田中 真喜子 摩尼 幸子 西山 国男 森 都司 大西 登美代 有木 定義 佐藤 哲司	山梨県韮崎市 埼玉県さいたま市 山梨県甲府市 神奈川県相模原市 山梨県甲府市 神奈川県川崎市 兵庫県神戸市 茨城県牛久市 山梨県北杜市 東京都小金井市 神奈川県横浜市 愛知県岡崎市 東京都清瀬市 東京都杉並区 岐阜県岐阜市 神奈川県相模原市

齊藤 昌子 加藤 浩子 関根 正幸 田中 智子 三枝 恒子 長山 雅子 山口 秀子	山梨県甲府市 神奈川県横浜市 埼玉県秩父市 山梨県甲府市 山梨県甲府市 北海道北見市 愛知県一宮市
---	---

●中高の部
優秀 4名

小野 慶人 下条 憲史 岡野 雄士 大島 あさひ	東京都文京区 山梨県北杜市	甲陵中1年 高根中1年 慶應義塾中学普通部1年 高根中1年
橋田 麻央 伊藤 菜里 加藤 紗 和田 日菜子	神奈川県横浜市 東京都国立市	高根中1年 高根中1年 フェリス女学院中学校1年 桐朋女子中学校3年
岡崎 龍斗 藤木 美佳子	大阪府豊中市	甲陵中1年 同志社女子高校3年

●幼児・小学生部門

優秀 1名	摩尼 菜々子	神奈川県横浜市	金の星幼稚園 5歳
-------	--------	---------	-----------

●小3-6の部

入選 4名	伊藤 桂祐 小林 健人 津金 志門 鳥羽 莞爾	岐阜県岐阜市 山梨県北杜市 山梨県北杜市 東京都八王子市	白山小学校6年 長坂小学校4年 須玉小学校6年 桐朋学園小学校3年
-------	----------------------------------	---------------------------------------	--

●幼・小1-2の部

入選 4名	和田 孟司 深津 一真 岩下 姫依 野口 朝美	東京都国立市 愛知県名古屋市	国立学園小学校1年 同朋幼稚園 須玉小学校1年 須玉小学校2年
-------	----------------------------------	-------------------	--

○第4回 平山郁夫絵画教室



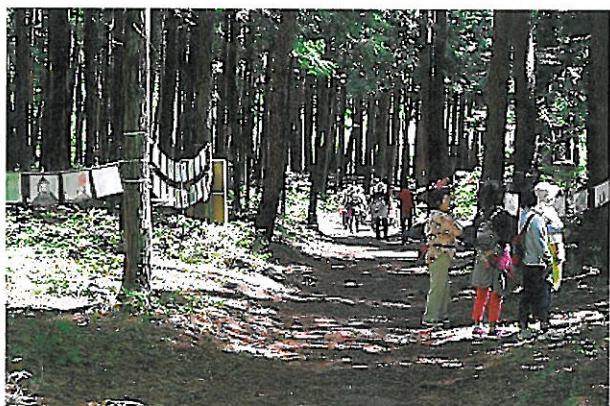
日時：2012年12月18日（火）

場所：甲陵中学校（午前）、泉中学校（午後）

平山郁夫画伯の「子どもたちに絵を描く楽しさを伝えたい」という想いから始まった絵画教室。昨年で北杜市内全ての小学校を周り、今年からは中学生を対象に開催する運びとなりました。

会場をキープ協会牧草地から各中学校へ、スケッチブックから山梨県身延町特産の「西嶋和紙」に変更して開催しました。平諭一郎氏（東京藝術大学大学院美術研究助手）のお手本と指導のもと、普段使い慣れていない和紙独特の“にじみ”を体験し、生徒たちは持参した野菜や果物を題材に夢の中で制作に取り組んでいました。

○第5回 平山郁夫絵画教室



《第8回北の杜ふるさとウォーキングin白州展示風景》

日時：2013年4月30日（火）

場所：白州中学校（2年生、3年生）

第5回目となる平山郁夫絵画教室は、平成25年に山梨県で開催される第28回国民文化祭関連企画と連携することとなりました。授業は平諭一郎先生の指導のもと、町に伝わる「白州小唄」の場面を生徒が分担して描きました。西嶋和紙を用いた“にじみ”的な水彩画は、ミネラルウォーターの生産量が日本一であることから名水の里である白州の町を描くことにより深みを加えてくれました。

完成した作品は5月12日に開催された「第28回国民文化祭北杜24景フットバス 第8回北の杜ふるさとウォーキングin白州」のコース内に展示されました。市外の皆様に見て頂くだけでなく、市内の皆様にも“ふるさと”を再認識して頂くよい機会となりました。

「中国の少数民族の染織—ミヤオ族を中心に—」展 関連企画

○ギャラリートーク



日時：2013年4月13日（土）

講師：井原 真子

参加者：32名

○講演会



日時：2013年5月18日（土）「中国の少数民族を訪ねて」

講師：平山美知子、道明三保子

参加者：68名

開館カレンダー

7 July							8 August							9 September						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	31	29	30					

10 October							11 November							12 December							
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	
	1	2	3	4	5								1	2		1	2	3	4	5	6
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	
13	14	15	16	17	18	19	10	11	展示替え					15	16	17	18	19	20	21	
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	冬期休館					
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30			冬期休館					

6/28~11/11「シルクロードの饗宴—葡萄とワインの文化をめぐって—」展
11/16~3/10「平山郁夫 日本の風景」展

※7~9月は無休
※12/24~1/3は冬期休館
※11/12~15は展示替えのため休館

●…は閉館日です

賛助会
だより

賛助会会員募集

賛助会は美術館の活動を支援とともに、会員の皆様の交流をはかることを目的として発足いたしました。皆様から寄せられました会費は、展覧会の開催、講演会・講座の開催、国際交流、美術館の維持管理などに使用されます。賛助会員にはさまざまな特典(詳しくは美術館HPをご覧ください)のほか、交歓会等イベントも予定しております。皆様のご入会を心よりお待ち申し上げております。

◆会 費 個人会員……10,000円
家族会員……15,000円
法人会員……100,000円

◆受付期間 随時受け付け(毎年7月に更新。12~3月までにご入会の方は初年度の年会費は半額、4~6月ご入会の方は翌年6月末日まで有効)。

◆申込方法 申込用紙に必要事項をご記入のうえ美術館にご郵送いただき、所定の銀行口座に会費をお振り込みください。申込用紙ご希望の方は、美術館HPからダウンロードするか、美術館にご請求ください。

お知らせ

ミュージアムグッズを 鎌倉で!

平山郁夫夫妻が暮らし、制作に励み、シルクロードへの旅の拠点となつた神奈川県鎌倉市に当館のオリジナル・ミュージアムグッズを扱うお店が出来ました。

JR鎌倉駅前から鶴岡八幡宮へと続く小町通りに入って最初の四つ角右にある、フォトスタジオ「登美太郎の店」です。間口2m足らずの小さなお店ですが、絵はがきや一筆箋、クリアファイル、マグカップに図録など平山郁夫絵画と仏像のグッズが並んでいます。もちろん、美術館と同じように、賛助会入会受付も会員割引もあります。

平山郁夫が描いた鎌倉の絵はがきをこの店限定で販売予定です。ぜひ覗いてみて下さい。「どうしてこの店で?」当館グッズが販売されることになったか、店のご主人に尋ねて見て下さい。午前9時~午後6時まで、火曜定休です。



平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第16号 平成25年7月1日発行
発行 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館
〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225
URL <http://www.silkroad-museum.jp>